

情報網の整備ニ當リテハ在地の組織ヲ活用シテハモ企圖ノ秘匿
 六師心ヲ注意ヨクシテスベシ
 五爾余ノ諸隊ハ戦ヲ計畫書ニ示ス諸準備就中偵謀踏
 線ノ設定ニ遺憾ナキヲ期スベシ
 六余ハ谷父岳隊本部ニ在リ

我こそは國の防人いざ立たん

七生滅敵胸にたいて

第一護郷隊長

村上若夫

下達法 要旨下達後印劍交付

下達先 第一護郷隊

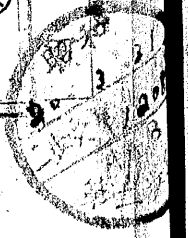
報告(通報)先 國支ニ護郷警備 劍

親作命秘才一辨

第一護郷隊命令

- 一 民情報ニ依リ一部落下投入謀者ヲニ率モ河内間降下セリ
- 二 才一護郷隊ハ一部防謀班ヲ以テ之ガ摘発ヲ実施セントス
- 三 玉川兵長ハ秘密防謀班員ヲ卒ニ直チニ出発基地河内
道ヲ前進民ヲ指導シ瀨嵩以來ノ搜索ニ任ズベシ
- 四 安富祖兵長ハ兵五名(輕機一ヲ附ス)ヲ卒ニ基地—宇大川—
犬浦ヲ前進シ大浦附近ニ至リ石工作ニ協力スベシ
- 五 給養ハ携帯—口糧甲—ニ依ルシ(二日分)
- 六 予ハ谷父岳隊本部ニ在リ
- 下報法 直轄本人ニ口達
- 下報先 防謀班
- 報告 國支 劍
- 通報先

谷三ニハ
父ハハ
岳



野砲連隊 國支 食

下 隊 長 大 隊 長 直 轄 本 部 入 口 口 口 口

大 隊 長 谷 又 上 谷 本 隊 二 五 一

五 命 養 八 隊 一 口 隊 甲 一 口 口 口 (二 日 合)

大 隊 長 谷 又 上 谷 本 隊 二 五 一

日 支 隊 長 谷 又 上 谷 本 隊 二 五 一

隊 長 谷 又 上 谷 本 隊 二 五 一

三 王 谷 又 上 谷 本 隊 二 五 一

二 谷 又 上 谷 本 隊 二 五 一

一 谷 又 上 谷 本 隊 二 五 一

第一 野砲連隊 命令

陸 軍 部 令 第 一 號

一平作命第二十四號

平山 隊 命 令

三月三十日 〇三〇
陸 軍 部 令

一 敵情ニ関シテハ其後新報ニ接セズ

二 中隊ハ國頭支隊本部トノ連絡施設ヲ強化セントス

三 指揮小隊ハ別紙有線通信網要圖ニ基キ中隊一

國頭支隊戰鬪指揮所直通一回線ヲ構成スルト共ニ

要矣ニ補線據矣ヲ設備スベシ

四 余ハ現在地ニ在リ

隊長 平山 大尉

下達法 指揮小隊長ニ口達

報告先 支隊本部



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9

此作命第二八號

第一護郷隊命令

三、二七、二四、ト
谷 分 岳

敵、砲爆撃、ハ、中絶、本島南部ニ於テ、津次熾烈化シ、ア

ニ、第一護郷隊ハ、基地主カヲ分散、自降方ニシテ、以テ

防諜措置ヲ講ビ、トス

基地 本部ノ部

第一隊 主力

現據点

本部

第二隊 主力

第一隊 主力

谷分岳監視所

第一隊 一分隊

谷分岳防理地ニシテ、如ク定メ、休而、秘密裡ニ、諜報地ヲ併用

ヲ、任務ヲ遂行シ、トス

基地

現據点

名護町

志志町名護町南部

五、給養ハ、中隊炊事トシ、細部ハ、與儀伍長ニ指示セシム

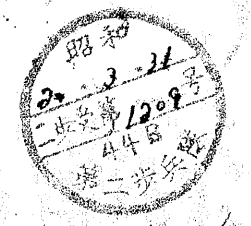
六、余ハ、谷分岳隊本部ニ在リ

第一護郷隊長
村上大尉

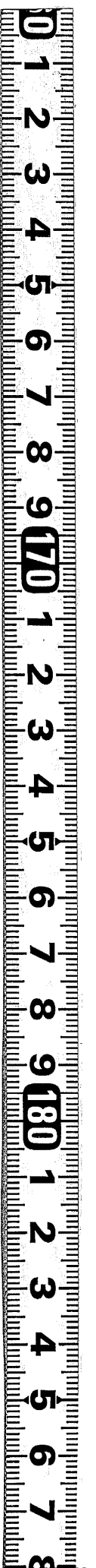
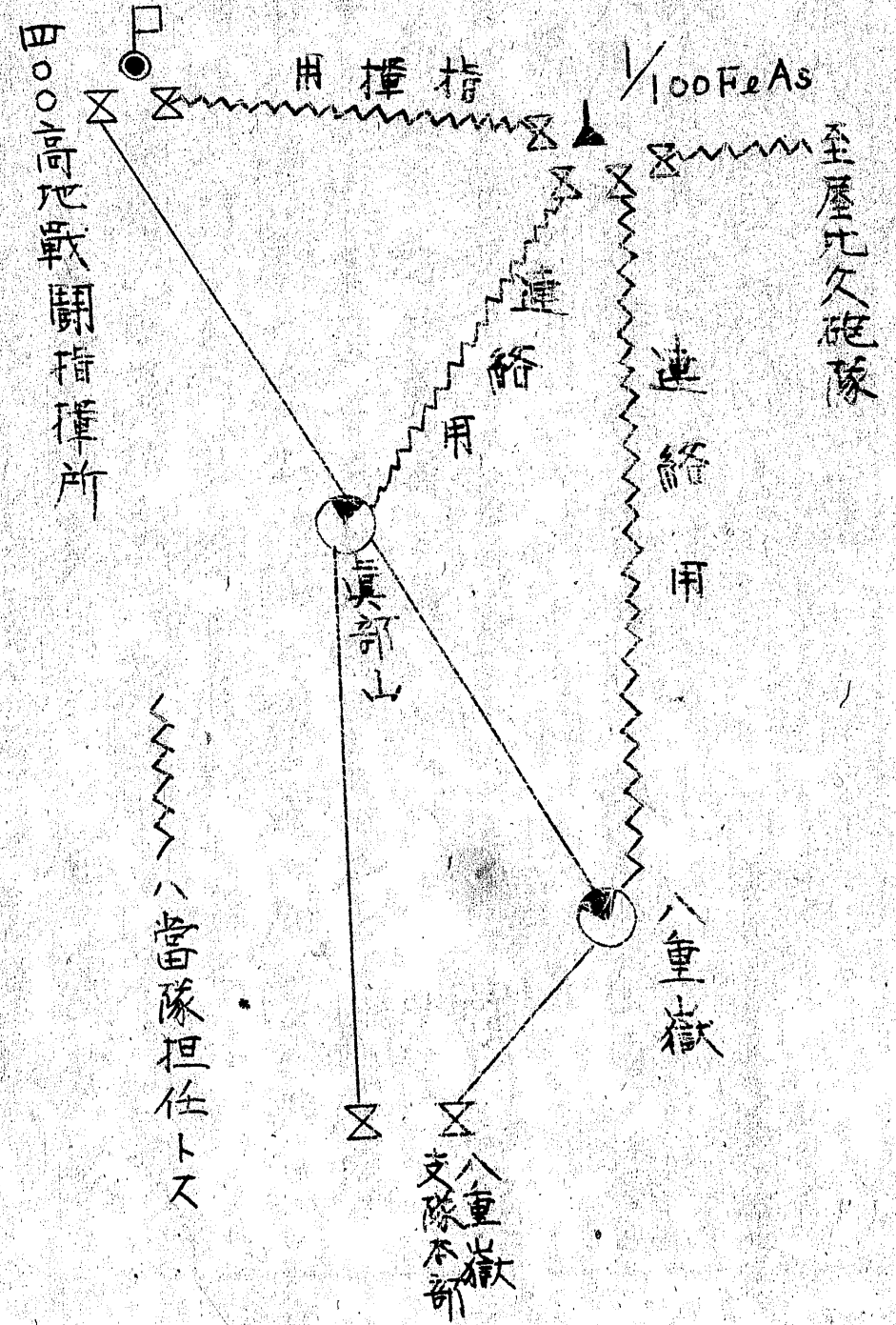
下達 要旨傳達後印刷交付

下達 先 棘下一般

(備註) 國支ニ護劍持當



別紙 隊外通信網要圖



官副 長隊

海軍の指揮

佐作命 第三十一號

第一 敵の行動愈々急激ナリ

第二 大隊ハ海上警戒ヲ更ニ強化シ敵上陸企圖ノ察知

ニ努メントス

第三 第四中隊長ハ下士官ヲ長トスル五名ヲ塩川海岸

ニ差出シ海上警戒ニ任セシムヘシ

第五中隊長ハ下士官ヲ長トスル五名ヲ部向原

南方海岸ニ差出シ海上警戒ニ任セシムヘシ

第四 細部ニ関シテハ直接中隊長ニ指示ス

第五 余ハ真部ニテハ大隊戦ヲ指揮シ在リ

第三十二大隊長

佐藤少佐

下達

先ツ電報ヲ要旨ヲ傳ヘテ後

口達等ヲ

報告

先ツ電報ヲ要旨ヲ傳ヘテ後

口達等ヲ



陸

軍

